

(第2号様式)

豊見城 第 1496 号
令和7年 3月 25日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立豊見城高等学校
校長 眞榮田 義光
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月12日 16:00～17:00	場所	本校小会議室	出席 状況	評議員2名出席
第2回	日時	令和6年12月12日 15:00～16:50	場所	本校小会議室	出席 状況	評議員3名出席
第3回	日時	令和7年3月18日 16:00～17:00	場所	本校小会議室	出席 状況	評議員2名出席

2 学校評議員に求めた事項

○3名の評議員へ、本校の学校運営等に関する質疑や意見、要望、助言を求める。○学識経験者として、元県立学校長及び県内大学業務に携わっている経験・立場から、現在の高校教育の現状等について、課題及びその解決への提言を求める。○本校元副PTA会長、保育施設業務に携わる視点から、本校に対する期待などの提言を求める。○地域住民・同窓生代表として、本校近隣に在住し、社会福祉士、精神保健福祉士としても活躍する視点から、これまでの経験を踏まえた提言を求める。

3 学校評議員の意見

○携帯電話の指導に課題があるように感じる。○授業観察から一人一台端末になってタブレットを使っている授業になっている。○スマホは個人的にはお昼休みぐらいいいのではと思う。身内とやり取りもあるのかなと思ったりする。○夜間、ライトを付けずに自転車に乗っているという話があるので気をつけて欲しい。○生徒の指導で叱り飛ばすのではなく丁寧な対応をしていると感じた。また、ヒヤリハットも報連相で対応しているのでその連携も良いと思う。豊翔塾の取り組みは講師の手配も大変だが、進路決定に向けて良い取り組みだと思う。○進路の早期決定をするためにも、豊翔塾とかも一つの手立てである。将来どうなりたいかという夢を見させることも大事である。○育成したい生徒像に沿った校則を検討しても良いのではないかな。○先生方の長時間勤務が心配である。健康に気をつけて欲しい。

4 学校運営に反映した事項

○評議員の授業参観、行事への参加による感想・称賛等が、本校の職員の励みになった。○学校全体が各種行事に力を入れていることの意義を再確認することができた。○地域から注目を集める地域の拠点校であることの責務を再確認することができた。

5 課題その他

○学校の中からでは見えない部分にいろいろ気づかされた。話を聞いていると、我々が普段やっている教育活動が間違いではないと感じて自信になった。○校則の見直しについては保護者・生徒の意見も取り入れてワーキングチームで検討していく。ICTの活用、生徒の主体性に主眼をおいた教育活動等のさらなる推進 ○進路決定後の出席状況の悪化等、勤怠状況の是正 ○進路未決定者への指導は課題だがキャリア教育大事である。○時代の変化に対応するための柔軟さの共有 ○教職員の負担を踏まえた上での学校の活性化